

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

「花祭りの里」交流ネットワーク計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

愛知県、北設楽郡東栄町

3 地域再生計画の区域

北設楽郡東栄町の全域

4 地域再生計画の目標

愛知県には、自動車工業を中心とした国際競争力を有する産業が集積し、我が国で最も活力あふれる地域がある一方、本県の面積の約1／3は三河山間地域が占めている。

これら山間地域は、天竜奥三河国定公園として指定を受けるなど、自然に恵まれた風光明媚なところであり、自然を求める人々が観光客として訪れている地域であるが、若者の流出や農林業の停滞などもあって、人口が減少し、高齢化が著しく進行しており、県土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、CO₂の吸収、木材や安全な農作物の安定的な供給等の多面的機能を有する森林・農地の適正な維持管理や地域社会の維持が困難になってきている。

一方で、本格的な成熟社会を迎え、都市住民の安全・安心志向、健康・本物志向等のニーズの高まり、スローライフや田舎暮らしへの憧れ、定年帰農等への関心の高まりが、今後、大量退職を間近に控えた団塊の世代や再チャレンジを目指す人々などを中心にみられる。

豊かな自然や食文化、花祭りなどの伝統文化といった地域資源に恵まれ、大都市地域に比較的近いという特色を持った三河山間地域は、それらの新たなニーズに応えることができる地域である。

そこで、今回、三河山間地域の特色と都市住民のニーズを踏まえ、地域支援措置を活用し、花祭りの里として知られている東栄町をモデルとして、都市住民が山の

暮らしを体験できる交流プログラムを開発、実施し、都市と山村の人的交流ネットワークを形成する。

また、山村において山村資源の魅力に直接ふれたり、住民と直接交流する取り組みや、都市部において三河山間地域の情報を発信するイベントなどを系統的に開催する。

花祭りとは…

三河山間地域の水系の一つである天竜川水系のみに、鎌倉時代の末期から室町時代の頃、熊野の山伏や加賀白山の聖によって伝えられたという伝統的行事。

毎年11月から3月にかけて東栄町内の各地区で開催され、国の重要無形民俗文化財にも指定されている「花祭り」は、悪霊を払い除け、神人和合、五穀豊穰、無病息災を祈る目的で鎌倉時代から代々親から子、子から孫へと大切に伝承されてきた。

およそ40種類にもおよぶ舞いが夜を徹して行われ、町外からもたくさんのファンが訪れて、舞手と一体となって「て～ほへ、てほへ」の掛け声とともに全員で盛り上がる。

○ 目 標

交流ネットワークを形成する人材(交流・研修講座に参加した生徒側の都市住民と先生側の山村住民)の育成：120人

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

愛知県の山間地域は、人口減少・高齢化の進行や農林業の停滞などにより、地域社会の維持が困難になってきている。

一方、都市では、「健康・癒し」に関心を寄せたり、自然の豊かさや田舎暮らしの良さを見直す動きが団塊世代などを中心にみられる。

そこで、都市住民が山の暮らしを体験できる交流プログラムを開発し、都市と山村の人的交流ネットワークを形成していく。

5-2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

5-3 その他の事業

5-3-1 基本方針に基づく支援措置

(支援措置の名称)

C2001 地域再生に資するNPO等の活動支援

(支援措置の内容)

ネットワーク形成促進事業

(支援措置の対象とする事業の内容)

「山村の文化・伝統芸能『花祭り』」と「山村と健康」の二つのテーマをモデルとして取り上げ、廃校舎を交流・研修拠点として活用し、山村側が教師、都市側が生徒となる宿泊型の交流・研修講座「ニューライフ教室」を実施する。

● 支援措置を受けるNPO法人

特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ

● 平成18年度事業

○ 「山村の文化・伝統芸能『花祭り』」教室

- ・ 座学：「花祭りの歴史」「花祭りの概要」など 2泊3日
- ・ 実習講座：踊り・笛の練習 2泊3日
- ・ 実践参加：「花祭り」に泊り込み参加 数日～1週間

○ 「山村と健康」教室

- ・ 座学：「森林の健康効果」「山の資源いろいろ」 2泊3日
- ・ 実習講座：山歩き、森林浴、沢上り、山菜料理、山仕事、木工
2泊3日×2回

○ 生徒募集

- ・ トヨタ自動車(株)、(株)デンソーなどトヨタグループ13社、(株)中部電力等の社会貢献担当部署やボランティアセンターを通じて募集
- ・ 愛知大学、愛知教育大学、農業高校などで学生を対象に募集
- ・ 東栄町、御津町(東栄町友好町)及び浜松市などで募集
- ・ 市民活動支援センター、関連するテーマに取り組む市民活動団体に募集の協力依頼

○ 実施体制

- ・ 本事業の実施にあたっては、「山村・都市協働実行委員会」体制とする。

(参画予定)

山 村：東栄町、東栄病院、森林組合、地域町内会、花祭り保存会、農家、
山村で活動するNPO など

都 市：教育機関（愛知大学、愛知教育大学、農業高校 等）

民間企業（トヨタ系13社及び中部電力 等）

NPO など

● 平成19年度以降

- 18年度の成果を踏まえ、支援措置を受けるNPO法人の役割を承継したうえでの実行委員会のNPO法人化、受益者負担の導入などを念頭に入れ、交流・研修事業の継続化を図り、都市と山村の人的交流ネットワークの形成を促進していく。

5-3-2 支援措置によらない独自の取り組み

三河山間地域の特性を生かした発展に資するため、以下の事業を一体的に実施する。

① 東栄フェスティバル【東栄町】[実施年度 平成18年度～平成20年度]

「花祭り」の舞いのダイジェスト版を実演するとともに、東栄町の物産を一堂に集めた「東栄楽市」を開催する。

都市住民に「花祭り」と物産とを同時に楽しんでもらうことは、東栄町の魅力を都市住民に広くアピールでき、また、東栄町にとって、伝統文化を末永く伝承するとともに、交流人口の拡大につながる。

○ 平成18年度

- ・ 11月3日に東栄ドームにおいて開催

② チェーンソーアート【東栄町】[実施年度 平成18年度～平成20年度]

東栄町の地域資源である「木」の良さを都市の人々にも知ってもらい、未来を担う子供たちへ、「木」の素晴らしさや楽しさ、森林の持つ豊かな可能性と自然環境・循環の大切さを伝えるため、チェーンソーアート競技大会などを開催

する。

○ 平成 18 年度

- ・ 世界チェーンソーアート競技大会 I N 東栄 2006
5 月 27 日・28 日に東栄ドームにおいて開催

③ 三河の山里活性化事業【実行委員会】[実施年度 平成 18 年度～平成 20 年度]

愛知県、三河山間地域 6 市町村（岡崎市、豊田市、新城市、設楽町、東栄町、豊根村）、中日新聞社等で実行委員会を組織し、山村・都市交流事業を実施する。

○ 平成 18 年度

- ・ 三河の山里体感プラザの開催
11 月 3 日～5 日に愛知県体育館において開催
- ・ 三河の山里ツーリズムの実施
11 月 14 日に「伝統芸能参加と郷土料理づくり」を東栄町において開催

6 計画期間

認定の日から平成 21 年 3 月末まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

本計画を効果的なものとするために、事業成果等について、都市・山村の住民代表、行政機関等関係者による評価のための会議を開催し、交流ネットワークを形成する人材の育成状況などを県が独自に調査し、事業の評価・検証を行う。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし